

はるまでねむるころ

りりんだ

えるーか

るろろ

ぴよんせ

けろる

木枯らしの吹く音。

枯れ葉を踏みながら、近づいてくるカエルの鳴き声。

りりんだ 冷えてきたね。

えるーか 冷えてきたねえ。

りりんだ お天道さまもだんだん遠くなってきたし。

えるーか 日が暮れるのも早いしねえ。

りりんだ 今年の冬も寒いのかなあ。

えるーか どうだろうねえ。

ぴよんせ ……おなかへった。

るろろ うん……。

りりんだ どうしてこうもご丁寧<sup>ごていねい</sup>に毎年寒くなるんだろ。たまには一年中ぽかぽか

陽気が続いたっていいと思わない？

えるーか そうだねえ。

ぴよんせ なんか食べたい……。

るろろ うん……。

強い風の音。

りりんだ ああっ！ もう！ 寒いっての！ なによ、このからっ風！ あたした

ちを干物にする気!?

えるーか あちこち乾ききってるからねえ。ここんとこしばらくお湿りしづめもないし。

りりんだ パラパラつとでも降ってくれれば、少しは気も紛れるんだけどなあ。

るろろ うん……。

えるーか でも見てごらん。ほら。だいぶ雲がでてきたよ？

ぴよんせ クモ……。

りりんだ ほんとだ。

ぴよんせ クモ食べたい。太ってるヤツ。

るろろ うん……。

りりんだ これはひと雨くるかもね！

えるーか だとしたらありがたいねえ。

ぴよんせ ……やっぱり太ってなくてもいいや。

りりんだ 雪になったりするかな？

ぴよんせ クモじゃなくてもいい。

えるーか 雪にはまだ早いんじゃないかねえ。まあ、時間の問題だろうけど。

ぴよんせ なんか食べたい……。

るろろ うん……。

りりんだ あーあ！ もうすぐ暗くて冷たい土の中かあ。

えるーか 冷たいったって外よりはましだからねえ。それにどうせ眠っちゃうんだし。

ぴよんせ 食べたい。なんか。

るろろ うん……。

りりんだ で？ 今年はどうする？

えるーか いつものあの田んぼ、なくなっちゃったからねえ。

りりんだ 最近はあるという条件のいい場所がなかなか見つからないのよね。

えるーか いざとなったら、もう濡れ落ち葉の下でもいいよ。わざわざ穴掘るのもしんどいし、

りりんだ ぬれ落ち葉ねえ。それじゃあやっぱりザーツと降ってもらわないと。

ぴよんせ ……おなかへった。

りりんだ そう言えば、けろろは？

るろろ うん？

えるーか ぼちぼちおでましになるでしょう。

りりんだ あの子のことだからどうせまた……

ぴよんせ おなかへった。

りりんだ (ついにブチ切れて) うるさいのよ！ さっきっから！

ぴよんせ コオロギ食べたい。

るろろ うん……。

えるーか あいにく威勢よく飛び回ってるのは、枯れた葉っぱばかりだよ。

ぴよんせ 食べたい……コオロギ……。

りりんだ あんたねえ！ 腹ペコなのは自分だけだとも思ってるの？

えるーか およしよ、りりんだ。

りりんだ だってえるーか！ こいつってば……

えるーか 腹をたてると、腹がへるから。

りりんだ それを必死に忘れようとしてるってのに、太ったクモだのコオロギだの

芋虫だのって……。

ぴよんせ 芋虫よりミミズがいい。

りりんだ 腹もちがいいの！ 芋虫の方が！

ぴよんせ へえ。

えるーか あんた、名前は？

ぴよんせ ぴよんせ。

えるーか 冬を越すのは初めて？

ぴよんせ・るろろ (同時に) うん……。

りりんだ ちよつとるろろ！ どうも様子がおかしいと思ったら、あんた早くも寝

てんじやないの？

るろろ うん……。

りりんだ 「うん」じやないでしょ！ ほら、起きて！

るろろ (ペチペチ叩かれ、大きなあくび) あれ……？

りりんだ こんなカッサカサに乾いた所で冬眠なんか始めたら、干からびて死んじ

やうよ！

るろろ おかしいな。ちよつとまぶたを閉じただけのつもりだったんですが。

りりんだ まったく。おたまじゃくしの頃からこの調子なんだから。

えるーか 今までよく生き延びてこられたねえ。

るろろ いや失礼。ついウトウトしてしまっただけです。(あくびをしながら) つまら

ないお天気の話が続いていたもので。

りりんだ あんた「失礼」の意味わかってる？

るろろ さつきけるるさんがどうか言ってませんでしたか？

りりんだ わかってないよね？

えるーか るろろはほんとうにけるるが好きだよねえ。

びよんせ けるるってなに？

えるーか あたしらの仲間のカエルだよ。

びよんせ ふうん。カエルが好物なんだ。

るろろ 食べてみようと思ったことはありませんけどね。

びよんせ 好物なの？

るろろ 食べたらいなくなっちゃうでしょう。

びよんせ ちよつぱり残せばいいんじゃない？

るろろ この子誰ですか？

えるーか びよんせだつてさ。

りりんだ いつの間にかついてきたのよ。

びよんせ びよんせです。食べるものを探しています。

りりんだ 礼儀正しく言われたってないものはないの。

えるーか それに冬眠する前にはおなかを空っぽにしておかないと。

びよんせ えー。なんで？

りりんだ 冬眠中はね、あたしたちカエルの体はどこもかしこもお休みしちゃうの。

だから食べたものがおなかの中に残ってても溶けやしないの。ということはつま

り……

びよんせ ずっとおなかへらないんだね。

りりんだ 死んじゃうんです！ 寝てる間におなかの中のものが腐って！

びよんせ そうかあ……。

りりんだ わかったらもう食べ物の話は禁止ね！ じゃあこれから寝床を探しに行

くから……

るろろ その前に、さつきけるるさんがどうか言いましたよね？

ぴよんせ でもアリンコくらいなら食べてもいいかな？

りりんだ ……ねえ、えるーか。あたし不思議でしょうがないのよ……。

るろろ りりんださん！ けるるさんがなんて？

ぴよんせ アリンコ一匹くらいなら食べてもいいよね？

りりんだ こういう話の通じないふざけた連中が、真面目に生きてるあたしのところに集まってくるのはなぜ？

えるーか バランスってやつじゃないかねえ。

ぴよんせ 一匹だけならいいことにするね？（カサカサと辺りの落ち葉をかきわけながら）アリンコアリンコ。どっかにいないかなあ……。

けるる （ドラマチックに）アリがいなければトンボを食べればいいじゃないの！  
るろろ ああ！ けるるさん！

ぴよんせ じゃあそうする。トンボはどこにいるのかな？

けるる さあ、どこかしら？

りりんだ 華々しくご登場になったところへお言葉ですけど、この季節にはトンボなんてもう一匹もいやしません。

けるる 知ってるわよ。ちよつと言ってみたかっただけじゃない。

ぴよんせ なんだあ……。

るろろ けるるさん、今日は最高にすかしてますね！

けるる それってどういう意味？

るろろ 抜群に気取ってるって意味です。

けるる よくわからないけど、褒めているのね？

るろろ あたり前じゃないですかあ。

けるる それはどうもありがとう。

るろろ ありがとうなんてそんな、僕はただ思ったことを正直に……。

りりんだ あのね。あんたたちの頭の中じゃ一年中ちようちよが飛び回っているの

かもしれないけど、現実の世界にはもうそこまで冬が来てるのよ？

けるる もちろん知ってるわよ。

るろろ なんでもご存じなんですわええ。

りりんだ だったらそろそろ冬を越すための寝床を探さなきゃいけないってこともわかるわね？

けろる わからない。

りりんだ わからないんだ。

けろる 寝床がなければ眠らなければいいじゃない。

るろる なるほど、さすがはけろるさん。型破りなものの考え方をなさいますねえ。

えるーか ちょっと破り過ぎな気もするけどねえ。

りりんだ 要するに冬眠しないってこと？

けろる ええ。そのつもり。

りりんだ けろる。冗談もいい加減にして。

けろる あら本気よ？ それよりあたしのお尻にかぶりついてるこの子は誰？

るろる あ！ なにやってるんだ君！

ぴよんせ ペとペとしてて食べづらいね。

るろる 僕のけろるさんになんてことを！

ぴよんせ ちよっぴり残すから。

るろる 丸ごと全部で好きなんだ、僕は！

えるーか あらあら。けろるモテモテだねえ。

けろる 悪い気はしないけど、モテるってそれほどういものじゃないのよ？ 相手

の ことをなんとも思っていない場合はことさらね。

るろる 僕のことを一匹のオスとしては見られないってことですか？

けろる そんなことないわ。「ただのオスガエルだなあ」とは思ってる。

るろる ……せめてやんわり「ただのお友だち」と言ってくれてもバチはあたらな

いのでは……。

けろる そうかもしれないわね。でもごめんなさい。心にウソはつけないの。

りりんだ お尻かまれながら何を言ってるのよ。ホラ、おチビさんも離れた離れた！

ぴよんせ けろるよりも虫の方がおいしいと思うよ？

るろる 今はもう少し優しい言葉をかけてくれませんか？

えるーか 本当に冬眠しないつもりなの？ けろる。

けろる だって考えてもみて？ ただ寒いからって理由だけで、冬の間中ひたすら眠って過ごすなんてもつたいたいと思わない？

えるーか まあ気持ちはわかるけど……。

けろる それと何度も言ってるけど、あたしの名前は「けろる」じゃなくて「キャロル」だから。

えるーか 言いやすいんだよねえ、「けろる」の方が。

りりんだ 冬眠するのにもつたいたいもへつたくれもないでしょ？

けろる のびのびでできる絶好のチャンスじゃない。あたしたちカエルを食べようと狙ってるトリやヘビたちがいなくなるのよ？

りりんだ あたしたちカエルが食べようと狙ってる虫たちもいなくなるけど？

ぴよんせ あー、食べ物の話はしちゃいけないんだよ？

りりんだ どの口が言ってるのよ！ どの口が！

けろる 食事については考え方次第じゃないかしら。おたまじゃくしだった頃のことを思い出してごらんさいよ。

るろる 思い出しました。けろるさんは生えてきたばかりの足で、僕のおでこに強烈なキックを……。

けろる あれはるろろがまとわりついていたのに気がつかなかったのよ。

るろる まとわりついていたんじゃないかって、そっと寄り添っていたんですが。

けろる あたしが言いたいのは、子どもの頃は選り好みなんてしなかったでしょうってことよ。おなかの足しになりさえすれば、動物だろうが植物だろうが、やわらかそうなものならなんだって喜んで食べたじゃない。

りりんだ あんなおちよぼ口だった時代とは、体のつくりからしてもうなにもかも違うんだから。

けろる いくらコオロギを丸呑みできるくらいに口が大きくなったからって、動いてるものしか食べようとしなないだなんて贅沢よ。

ぴよんせ ねえ、もうコオロギの話してもいいの？

りりんだ あんたはどんな話もしちゃダメ！



えるーか 食べ物のことはさておくとしても、これ以上寒くなったら、体が冷えて動かなくなっちゃうんだよ？

けろる それは気合の問題ね。

えるーか 気合で変温動物の体温は上がらないと思うけどねえ。

るろる いや、一概いちがいにそうとも言いきれませんか？ けろるさんのことを考える時、

僕の胸の中にはなにやら熱いものがこみ上げてきますからね！

りりんだ 冬を乗り越えるために、みんなもけろるに恋をしろとでもいうわけ？

るろる それは困ります。けろるさんの恋のお相手は僕だけで充分ですから。

ぴよんせ さつきけろるはるろろのこと「ただのオスガエル」って言ったよ？

るろる 君は口をきいてはいけないのでは!?

りりんだ 適切な発言ならよしとするから。

るろる とにかくですわね！ 気合で寒さを乗り越えるという発想は、そうそう捨て

たものではないですよ。実際僕は先ほど、けろるさんの名前を耳にしたことで眠

気が一気に吹っ飛びました！

けろる だから何度も言うけど、あたしの名前は「キャロル」だってば。

るろる いっだってそう呼んでいるじゃありませんか！ 僕だけはちゃんと「けろ

るさん」て！

けろる わかったから、少し黙っていてくれる？

るろる あなたを援護しているのに!?

けろる 話を元に戻すとね、気合の問題っていうのはつまり、絶対にあきらめない

ことが肝心だって意味なの。たとえ無理だと思っても、根気よく努力を重ねれば、

不可能だって可能になるのよ。

えるーか まあ昔から「雨だれ石を穿うがつ」とは言うけどねえ。

けろる 「怠らぬ あゆみおそろし かたつむり」とも言うじゃない。

ぴよんせ 「かたつむり 食べておいしい かたつむり」

りりんだ なんてあんたが一句詠むのよ。

けろる あたしたちはね、もつと自分の可能性を信じてみるべきなのよ。

りりんだ 可能性を信じるのは結構だけど、どんなにがんばっても絶対になかなわな

いことがあることくらい、るろろを見てればわかるでしょう？

るろろ どうしてそこで僕がひき合いに出されるんですか。

りりんだ しつこくけるるにまわりついてても、まったく振り向いてもらえないじゃない。

るろろ りりんださん。言っていないことと悪いことが……

けるる そうか……。そう考えると、絶対かなわないことって確かにあるわね……。

るろろ けるるさんも腑に落とさないで！

ぴよんせ さつきけるるはるろろに「少し黙ってて」って言ったよ？

るろろ 知ってますよ！ 直接言われたんですから！

けるる まあ多少の例外はあるにしても、あたしたちはエラ呼吸から肺呼吸に切り替えるなんていう離れ技だっとなし遂げたんだもの。眠らずに冬を越すことくらいわけないはずよ。

りりんだ そこまで冬眠するのがイヤなんだったら、もう常夏とこなつの地にも移住する

しかないんじゃないの？

けるる ……りりんだ……。

りりんだ なんででしょう。

けるる なぜそれを早く言ってくれないのよ！

えるーか ああ……。乗っかっちゃったねえ。

けるる そうよ、その手があったじゃない！ 冬がこない場所へ行ったらいいんだ

わ！ なんて素晴らしいアイデアなのかしら。ありがとう、りりんだ。大好きよ！

るろろ 南の方へ向かったらという提案は、僕もひそかに温めていました！

けるる ……ふーん。

るろろ ……途轍とてつもない温度差ですネ……。

りりんだ 冷めたついでに少し頭も冷やしたら？ 冬が来ないような南の土地にな

んかどう考えたって行けっこないじゃない。

けるる いいことを教えてあげるわ、りりんだ。カエルはね、最大で体の長さの二

○倍もの距離をジャンプできるのよ？

りりんだ ……えるーか。あたしは一体なにを答えればいい？

えるーか とりあえず、「それはカエルなら誰だって知ってるよ」とでも言つといた  
らどうかねえ。

ぴよんせ 南に行ったらたくさん虫がいるかなあ。

けろる そりゃあもううじゃうじゃいるわよ。おまけにこの辺の虫よりも、みんな  
ずつと大きいんですって！

ぴよんせ ほんとに!?

けろる たぶんね。メダカの学校で教えてたのを聞きかじっただけだけど。

ぴよんせ じゃあぴよんせも南に行く！

けろる そうよそうよ、行きましよう！

りりんだ 自分を食べようとした相手によくそんなふうに見えるわね。

るろる けろるさん、僕もご一緒してかまいませんか？

けろる もちろんいいわよ！ でも足手まといになったら置いてけぼりね？

るろる 了解です！ ありがとうございます！

えるーか るろるはほんとうに打たれ強いよねえ。

ぴよんせ ねえ、けろる。ぴよんせはジャンプしないんだけど。

けろる あらそうなの。よく飛びそうな名前なのにね。だったらるろるの背中に乗

ったらいいわ。

ぴよんせ じゃあそうするね。よいせつと。わあ、ぺとぺととして乗りやすいね。

るろる お尻を噛んだら即刻降りてもらいますよ？

けろる えるーかたちもどう？

ぴよんせ ぴよんせの背中に乗ってもいいよ？

るろる 僕の背中で勝手に調子のいいことを言うのはやめてください。

けろる さあ、新しい生き方を求めて、南の楽園を目指しましょうよ。

りりんだ あたしは遠慮しときます。どうぞいつてらっしゃいませ。二度とお会い  
することは出来ないでしょうけど。

けろる かわいそうなりりんだ……。飢えと寒さから逃げるようにして、これから

また何カ月も土の中に閉じこもるなんて。

りりんだ 同情される謂いわれはないわね。あたしは自然の摂理のつとに則したがった生き方にな

んの不満もありませんから。

ぴよんせ りりんだはさつき、「一年中ぼかぼか陽気になればいいのに」って文句を言ったよ？

りりんだ あんたはいつも余計なことだけ覚えてるよね。

けるる なーんだ。ただの負け惜しみ？

りりんだ いいことを教えてあげるわ、けるる。ただ逃げ出したいだけなくせに、

「新しい生き方」だとかほざいてるあんたのその屁理屈こそが本当の負け惜しみっていうのよ？

けるる 誘ったあたしがバカだったみたいね。よくわかったわ。自然の摂理とやらをつまらないルールに縛られながら、ゆっくり安らかにおやすみなさい。腹ペコのおなかを抱えて死んだように眠らなければいけない先祖代々からの呪いが、春になって雪と一緒に溶けてしまうまでね。

えるーか それは違うよ、けるる。

ぴよんせ ……あれ？

えるーか 冬眠はつまらないルールでも呪いでもない。たいした武器も能力ももたないあたしたちの未来を守るために、ご先祖さまたちが知恵をこらして遺<sup>のこ</sup>してくれた贈り物だよ。

ぴよんせ あれえ？

えるーか ……あたしはそう思ってるけどねえ。

ぴよんせ なんか降って来たよ？

りりんだ ……雨だ。

雨音の中、「雨だ」「雨だ」「わーい」と喜びの声をあげるカエルたち。

けるる あくやっぱり雨に濡れると生き返るわねえ！

りりんだ どうなの？ けるる。もう気はすんだ？

けるる うん。なんか眠れる気がしてきた。

ぴよんせ 雨が降ったらケンカは終わり？

えるーか ケンカじゃないよ。お芝居だからねえ。

るろろ けるるさんはこの時期になると必ず、冬眠するのが怖いと言って、かわいく駄々をこねるんですよ。

りりんだ で、今みたいに冬眠するだのしないだのって思い切り言い合ってるうちに、だんだん気持ちが悪く落ちていくるんだって。

けるる みんな、今年もおつきあいありがとう。

えるーか 冬眠前の腹ペコを紛らわすにはちょうどいい余興だからねえ。

けるる るろろ、さっきはごめんね。だんだん入りこんでいくうちに、あなたを傷つけるような本音をついいろいろ言っちゃって。

るろろ いいですよ、けるるさん。今も言ってるけどいいんです。それであなたが安心して、春まで眠ることができるなら。

ぴよんせ ……じゃあでっかい虫がうじゃうじゃいる南の楽園には行かないんだ…。

えるーか なんだかかわいそうなことしちゃったねえ。

けるる ごめんなさい、ぴよんせ。でもあなたがいてくれたおかげで、妙な臨場感があつてとっても面白かった。

ぴよんせ ……けるるはどうして冬眠するのが怖いの？

けるる どうしてかしら。きつと長く眠ってる間に、今日みたいな楽しかったことを忘れちゃうのがイヤなのかもね。

ぴよんせ 忘れちゃっても、また思い出せばいいんじゃない？

けるる そうね。あなたの言うとおりでわ。ありがとう、ぴよんせ。  
りりんだ ところであなた、仲間のところに帰らなくてもいいの？

ぴよんせ ぴよんせの仲間はどこにいるの？

えるーか ここらでサンショウウオはあんまり見かけないけどねえ。

けるる そうだ、りりんだ。あたし冬の寝床にお詠あつらえ向きのモグラの穴を見つけたの。

りりんだ お！ でかしたじゃない！ がんばって芝居したのが報われたな。

けるる よかったらぴよんせも一緒にこれから下見に出かけましょうよ！

ぴよんせ　じゃあそうする。

るろろ　あのー、そろそろ降りてもらえませんか？

ぴよんせ　でっかい虫に会いたかったけど、ぴよんせは今いるここを楽園だと思う

ことにする。

るろろ　そう言われると満更まんごう悪い気はしないのですが……。

えるーか　それにしても、ずいぶん冷たい雨だねえ。

けるる　いよいよ冬の到来ね。

りりんだ　あーあ。春はまだまだ遠いなあ。

けるる　眠っちゃえばあつという間よ。

りりんだ　……それ、あんたの言うセリフなの？

けるる　さあみんな！　恵みの雨がやまないうちに出発するわよ！

雨音の中、カエルの鳴き声が遠ざかっていく。

おしまい。